

- 問1 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた

2. 自然の恵みに感謝し、食べ物のかさや安産などを祈るために作られた

3. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた

4. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた
- 問2 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

2. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された

3. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である

4. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
- 問3 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 旧石器時代

2. 弥生時代

3. 古墳時代

4. 縄文時代
- 問4 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. アイヌ民族

2. 渡来人

3. 琉球民族

4. 蝦夷（えみし）
- 問5 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 打製石器

2. 磨製石器

3. 青銅器

4. 鉄器
- 問6 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式の道具として用いられた。

2. 亡くなった有力者の権威を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。

3. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。

4. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。
- 問7 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 埴輪

2. 石包丁

3. 土偶

4. 青銅器
- 問8 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。

2. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。

3. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。

4. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。
- 問9 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。

2. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。

3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。

4. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。
- 問10 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため

2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため

3. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため

4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため
- 問11 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）
1. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。

2. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。

3. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。

4. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。
- 問12 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため

2. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため

3. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため

4. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため
- 問13 佐賀県の東名遺跡（ひがしみょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。

2. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。

3. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。

4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。